

Scopus (2)

検索例を前号に引き続き紹介する。

前号でガスクロマトグラフィーについての検索結果をグラフ表示で分析した（前号図3）。グラフの著者名タブをクリックすれば、この手法を使って多くの論文を発表している著者のリストが表示される。これらの著者は、名前の表記のさまざまなバリエーションの名寄せが行われている（図4）。このグラフ表示による分析ではその研究論文を多く発表している研究機関を多い順に見ることも可能である。検索キーワードを手法ではなく、研究テーマとした場合、共同研究先の候補探しや、大学院進学先等の候補探しにも有用な情報となる。検索結果には、Methods in Enzymology 等の有用な書籍情報も含まれている。各レコードには、論文タイトル、著者情報、アブストラクト、キーワードや参考文献情報が記載されている。CAS 登録番号や Reaxys 由来の化合物、反応式情報も存在する場合には表示される。画面の右上には、この論文を参考文献として使用した文献の最新2件の情報とその総数、リストへのリンクが表示されている。特許やウェブに引用されている場合は、そのリンクも表示される。Altmetric for Scopus というアプリケーションも搭載しているため、ソーシャルメディアや文献管理ツール Mendeley 上での反応を定量的にみる⁸⁾ことも可能である（図5）。

4.2 著者名検索 “Negishi, E”

Scopus は著者名での検索も至極簡便に行うことができる。例として、ノーベル賞受賞者の根岸英一先生を検索してみる。イニシャルを用いての検索でも、検索結果が論文数の多い順に示され、かつ所属機関も同時に表示されるため、目的の著者の文献を探すことが容易である。Negishi, E. I., Negishi, Eiichi, Negishi, E., など、検索するときには悩ましい表記のバリエーションもひとまとめにしてある（図6）。著者の ID が分かれていた場合や、他の論文が混ざっていた場合の修正申請に便利なウィザードも用意されている。

4.3 Reaxys との連携例

根岸先生の著作の中で 1996 年以降 4 番目に多く引用されている *Journal of Organic Chemistry* 誌に掲載された論文⁹⁾には、Reaxys 由来の化合物、反応式の情報も掲載されている（図7）。リンクをクリックすると、構造



図 4



図 5

式や反応式、反応条件などが確認可能である（図8）。さらに、Reaxys の契約がある機関のネットワーク内からであれば、リンクから Reaxys にアクセスし、より詳細な実測物性値や反応条件、出典情報などさらなる調査が可能となる。

5 使用条件

大学や企業など、機関単位で契約できる有料データ

検索結果: 7/18 文庫が1件だけのプロフィールを表示 1/1

すべて 選択して実行: 文庫を表示 | 引用分析を表示 | 著者プロフィールの統合を依頼 並び替え 文庫数 (降順)

著者名	文庫数	分野	著者所属機関	市	国
1 Negishi, Eiichi Negishi, E. I. Negishi, Eiichi Negishi, E.	327 最新文庫を表示	Chemistry; Biochemistry, Genetics and Molecular Biology; Pharmacology, Toxicology and Pharmaceutics; ...	Purdue University	West Lafayette	United States
2 Negishi, Etsuko Negishi, E.	19 最新文庫を表示	Biochemistry, Genetics and Molecular Biology; Pharmacology, Toxicology and Pharmaceutics; Medicine; ...	Chiba University	Chiba	Japan
3 Negishi, E.	3 最新文庫を表示	Medicine	Tokyo Medical and Dental University	Tokyo	Japan

図 6

6 問い合わせ先

エルゼビア・ジャパン株式会社 〒106-0044 東京都
港区東麻布 1-9-15 東麻布一丁目ビル 4 階
Tel: 03-5561-5034 (代表) jp.pr@elsevier.com

参考文献

- 1) Scopus (スコーパス), Elsevier B. V., <http://www.scopus.com> (2013 年 12 月 13 日, 最終確認)
- 2) Scopus 概要, エルゼビア・ジャパン株式会社, <http://japan.elsevier.com/products/scopus/index.html> (2013 年 12 月 13 日, 最終確認)
- 3) 鶴岡孝章: “教育に情報ツールを活用する～教育ツールとしての Scopus～”, 薬学図書館, 58, (2), p. 138 (2013)
- 4) SciVal, エルゼビア・ジャパン株式会社, <http://japan.elsevier.com/products/scival/index.html> (2013 年 12 月 13 日, 最終確認)
- 5) 査読者 (ジャーナル), エルゼビア・ジャパン株式会社, <http://japan.elsevier.com/publishing/reviewers.html> (2013 年 12 月 13 日, 最終確認)
- 6) Reaxys, エルゼビア・ジャパン株式会社, <http://japan.elsevier.com/products/reaxys/index.html> (2013 年 12 月 13 日, 最終確認)
- 7) Scopus クイックレファレンスガイド, エルゼビア・ジャパン株式会社, http://japan.elsevier.com/scopussupport/scopus_qrg_japanese.pdf (2013 年 12 月 13 日, 最終確認)
- 8) 林和弘: “研究論文の影響度を測定する新しい動き —論文単位で即時かつ多面的な測定を可能とする Altmetrics—” 科学技術動向, 2013 年 3・4 月号, p. 20
- 9) E. Negishi, A. O. King, N. Okukado: “Selective carbon-carbon bond formation via transition metal catalysis. 3. A highly selective synthesis of unsymmetrical biaryls and diarylmethanes by the nickel- or palladium-catalyzed reaction of aryl- and benzylzinc derivatives with aryl halides”, J. Org. Chem., pp 1821-1823 (1977), 42 (10), DOI: 10.1021/jo00430a041
- 10) 学術認証フェデレーション, 国立情報学研究所, <http://www.gakunin.jp/ja/> (2013 年 12 月 13 日, 最終確認)

〔エルゼビア・ジャパン株式会社 恒吉有紀〕

Scopus

Yuki Tsuneyoshi | ログアウト | 使い方のガイドはこちら

検索 | 登録 | ジョーナルの新 | アナリティクス | マイリスト | 設定 | Live Chat | ヘルプ | チュートリアル

クイック検索

検索結果: 4 / 327 件

Journal of Organic Chemistry
Volume 42, Issue 10, 1977, Pages 1821-1823

Selective carbon-carbon bond formation via transition metal catalysis. 3. A highly selective synthesis of unsymmetrical biaryls and diarylmethanes by the nickel- or palladium-catalyzed reaction of aryl- and benzylzinc derivatives with aryl halides

Negishi, E. I., King, A. O., Okukado, N.

Department of Chemistry, Syracuse University, Syracuse, NY 13210, United States

抄録 (Abstract)

The reaction of aryl- and benzylzinc derivatives with aryl bromides or iodides in the presence of a catalytic amount of a Ni or Pd catalyst provides a general and highly chemo- and regioselective route to unsymmetrical biaryls and diarylmethanes, the amounts of homocoupled biaryls being < 5%.

Reaxysデータベース情報

View Compounds | View Reactions

ISRN 0522283 高解像度イフ: journal 本文言語: English
文庫 47: Article

© Negishi, E. I., Department of Chemistry, Syracuse University, Syracuse, NY 13210, United States
© Copyright 2006 Elsevier B. V., All rights reserved.

この論文を引用している文庫 (1996年以降)

この論文は 407 回 Scopus で引用されています (最新の 3 件)

Kozlov, S., Passmore, J., Nolan, M.
Negishi coupling reactions as a valuable tool for [11C] nucleoside synthesis: First proof of principle
(2013) Chemical Communications

Kowalski, S., Akari, S., Zherber, K.
Direct arylation polymerization as a simplified alternative for the synthesis of conjugated copolymers
(2013) Progress in Polymer Science

407 回の引用している文庫を表示

この論文が Scopus で用いられたと通知:

アラート設定 | 通知

この論文を引用している他の情報源

ウェブ検索: 153 回
引用: 139 回

関連文庫

以下が関連している関連文庫を検索:

検索

図 7

Scopus: Chemical Compounds. Internet Explorer provided by Read Elsevier

The following information is from the Reaxys Database

Negishi et al.
1977, Journal of Organic Chemistry, 42, pp. 1821

2 Chemical Compounds View reactions (2) Results 1 to 2

1. Reaxys RN: 181056
Chemical name: p-phenylnitrobenzene
CAS number: 92-92-3
Mol. formula: C₆H₅NO₂
Mol. weight: 159.209

For more information access the Reaxys Database: [Reaxys](#)

Related documents found
View the 354 most recent documents

2. Reaxys RN: 180708
Chemical name: 4,4'-dinitrodiphenyl ether
CAS number: 1817-74-9
Mol. formula: C₁₂H₈N₂O₂
Mol. weight: 258.233

For more information access the Reaxys Database: [Reaxys](#)

Reaction number: 726183
Reaction conditions: 100 percent

For more information access the Reaxys Database: [Reaxys](#)

Reaction conditions: Reaction conditions

For more information access the Reaxys Database: [Reaxys](#)

図 8

ベースである。契約機関のネットワーク内からであれば、ユーザー登録なしに 24 時間/365 日の使用が可能である。リモート用 ID/パスワードや、GakuNin (機関・出版社が相互に認証連携を行う学術認証フェデレーション)¹⁰⁾によるリモートアクセスにも対応している。